

委員会等会議録（調査・研究概要）

平成29年3月15日

箱根町議会議長 様

議会改革等推進特別委員会委員長

箱根町委員会条例第26条に規定する会議概要等(会議録)を作成したので報告します。

会議名		議会改革等推進特別委員会
開催日		平成29年3月14日（火）
時間		午後4時43分 から 午後5時13分 まで
開催場所		議場
出席者	議会	折橋尚道委員長、村野由紀子副委員長、川端祥介委員、勝俣剛一委員、小川鶴雄委員、山田成宣委員、稲葉親太郎委員、山田和江委員、石川栄委員、遠藤秀則委員、沖津弘幸委員（欠席：勝俣公好委員、西村和夫委員）
	執行部	—
	事務局	片倉事務局長、高梨書記、鴻田
	傍聴者	公開・非公開の別：公開 傍聴者：なし
議事日程		日程第1 今後の取り組みについて
会議概要		<p>1 概要</p> <p>日程第1 今後の取り組みについて</p> <p>議員の任期も残り6カ月となったことから、最終的な取りまとめを行うにあたり、取組事項（11項目）について協議を行った。</p> <p>①議会カレンダー・・・実施済みであり、インターネット、議会だよりに掲載している旨を説明。</p> <p>②インターネット中継、電子採決システムの導入検討、ICTの推進、タブレット端末の導入検討・・・インターネット中継については、町のインターネット環境が変更となることから、様子を見ている段階である。財政状況を考慮しつつ、導入に向けての調査研究を進めていく。</p> <p>◎意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の導入については、ペーパーレス等による経費も削減でき、職員の事務の効率化も図れることから、優先して取り組んで欲しい。 ・財政状況も厳しいので、もう少し検討すべき。操作等に不安があるため、もっと研修等を行い進めていったらどうか。 <p>③大学との連携、政策提案</p> <p>政策立案するためには専門的知識を有する方の助言等も必要である。現在、元開成町長の露木順一氏が日本大学の教授をしているため、そのことも視野に入れ検討課題とする。</p>

④議会モニター

現在、議会だよりモニター5名の方に協力していただきながら、議会だよりを作成している。今後、議会をより良いものにしていくため、議会を傍聴してもらう議会モニターの必要性等について検討していく。

⑤議長選の所信表明

改選後に向け、必要性も含めて継続的に調査・研究していくこととした。

⑥議会図書室の町民への開放

引き続き、調査・研究していくこととした。

⑦夜間議会や休日議会の開催

他の自治体での状況や成果等について調査・研究していくこととした。

⑧住民の意見を集め反映するための仕組み

意見交換会のあり方等を含め、広報広聴委員会とともに調査・研究していくこととした。

⑨反問権（逆質問や反論。反論権も含む）

反問権の拡大について説明した。

◎意見

- ・メリット・デメリットがあると思うので、もう少し研究していったらどうか。
- ・議論を深めるためにも、反問権は付与すべきである。

⑩基本的な質問方法

質問と質疑の違いについて、再認識をする必要があることから、この件については、議会運営委員会へ諮問していく方向で進めていく。

◎意見

- ・本会議などでおかしな質問・質疑があった際は、その都度、議運等からアドバイスをもらえたらと思う。

⑪広報広聴委員会の常任委員会化の検討

◎意見

- ・広報広聴委員会は、常にいろいろと携わっていることから、常任委員会することに異論はない。
- ・議員数も少ないことから、近隣等の状況を見つつ検討していったらどうか。

最後に、平成28年度議会改革取組状況に係る評価について提出してもらうよう依頼を行った。